

神戸アートビレッジセンター 美術事業

梅田哲也 ワークショップ《表現しないうたと身体》制作公演 「Composite」

神戸アートビレッジセンター [KAVC] (神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団、館長：大谷燮) は、2019年8月12日(月・祝)に、KAVCホールにて、アーティスト 梅田哲也によるパフォーマンス作品「Composite」を上演します。

「Composite」は、シンプルな声や身体の動きを組み合わせることで生み出される、指揮者のような中心点を持たない合唱作品です。梅田はこれまでにフィリピン、ベルギーでワークショップを行い、現地の人々と共に本作を上演してきました。日本では、京都国際舞台芸術祭 KYOTO EXPERIMENT 2016 SPRING で発表して以来の再演です。

また、今回の神戸公演にあたっては、「表現しないうたと身体」と題したワークショップを開催し、梅田が一般参加者と共に「Composite」の公演本番に向けて作品を作り上げます。参加者は、小学生、中学生、高校生のほかに、教育に関わる大人などです。梅田をはじめ、年齢や職業もさまざまな、総勢 20 名を超える出演者によるパフォーマンスを立ち上げます。

さらに今回、ゲストアクトとしてダンサーの山下残を迎え、過去の作品を再構成したライブパフォーマンスを同時上演します。

公演情報

日時 | 8月12日(月・祝) 15:00 開演 30分前開場/受付開始

会場 | 神戸アートビレッジセンター 2F・KAVCホール

出演 | Chapter.1 梅田哲也 × ワークショップ参加者、他

Chapter.2 山下残、垣尾優、佐々木峻一(努力クラブ)、畑中良太

料金 | 《予約》一般：2,000円、学生・かぶっクラブ会員：1,500円

《当日》一般：2,500円、学生・かぶっクラブ会員：2,000円

高校生以下無料 ※要証明書提示 ※全席自由

上演時間 | 60分～80分を予定。

予約方法 | 電話またはチケット申込みフォームにてご予約ください。

【電話】078-512-5500

【チケット申込みフォーム】 <https://forms.gle/jCK5A3APUyjbGbXo8>

過去作品 | 参考写真



フィリピン・マウンテン州カヤン村でのワークショップおよび公演風景(2014年) 撮影：Yasutaka Watanabe

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター (指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団) 担当 岡村・野澤
 〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356
 ※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

▶ワークショップ

はじまりのみかた vol.3 《表現しないうたと身体》

—アートのはじまりの見方を提案し、はじまりを味方する。

「はじまりのみかた」は、神戸アートビレッジセンター美術事業のワークショップシリーズです。

第3弾は「体感する」「創造する」をキーワードに、「声と身体」に焦点を当てます。

今回、講師にお迎えするのは、日常にある身近なものを使って音や動きを生み出し、その現象を作品にするアーティスト・梅田哲也さんです。ワークショップでは、梅田さんがフィリピン、ベルギーで公演を行ってきたパフォーマンス作品『Composite』を、参加者と一緒に作り上げます。

シンプルな声と動きの組み合わせによって生み出される、歌でも、踊りでもない、指揮者のいない合唱作品を体験してみませんか。

※ワークショップ・公演ともに別途参加の大人と合同で行います。

開催概要

日 時 | 〈ワークショップ〉 8月11日(日) 13:00 ~ 17:00 ※途中休憩あり
 〈公演〉 8月12日(月・祝) 10:00 ~ 17:00 ※練習含む。途中休憩あり。
 会 場 | 神戸アートビレッジセンター2F・KAVCホール
 対 象 | 小学生、中学生、高校生
 条 件 | ワorkshopと公演の両日参加ができること
 定 員 | 小・中・高 各6名 ※参加には保護者の同意が必要です。
 参加費 | 無料



出演・ワークショップ講師 | 梅田 哲也 (アーティスト)



美術と音楽や建築の領域をまたいで、日用品や廃材といった身近なものを素材としたインスタレーションや、都市空間や自然のなかでのサイトスペシフィックな作品を手掛ける。近年の展覧会に「東海岸大地芸術節」(台東、2018年)他。個展では「See, Look at Observed what Watching is」(Portland Institute for Contemporary Art, ポートランド、2016年)など。パフォーマンスでは劇場の機能にフォーカスした舞台作品や、現地の人を巻き込んだプロジェクトを展開し、「Kunstenfestivaldesarts」(ブリュッセル、2017年)、「Tectonics2018-2019」(グラスゴー/アテネ)など、パフォーマンス・アーツおよび音楽のフェスティバルにおいても作品を発表している。siranami.com

撮影：Bea Borgers

公演ゲスト | 山下残 (ダンサー)



1970年生まれ。大阪府出身。10代後半からダンスを始める。

振付の方法論や空間への仕掛けをゲームのように制約として用い、社会的な要素としての個々人の身体を、作品を通して解放させる取り組みを行っている。最新作はマレーシアの政権交代を、野党から立候補した友人と共にドキュメント&再現した『GE14』。

※ゲストアクトとして公演に出演。

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 岡村・野澤
 〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。